

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(152)

提出日 2006年8月15日

(1) イベント名

ネットワーク型東北大学サイエンスカフェ

(2) イベント概要

目的： 東北大学サイエンスカフェが毎月実施しているものを発展させて新たにネットワーク型サイエンスカフェモデルの開発を行う中で、遠隔広域型モデルの実証的な試みとしてネットワーク型サイエンスカフェが行われる。この実証試験において会場間の映像伝送とアンケートなどの多会場リンクシステムをJGN IIにより接続して運用し、評価検証を行う。

内容： ネットワーク型サイエンスカフェ（テーマ「大隅典子×瀬名秀明 脳をつくる遺伝子レシピ！」）を開催する。

出席者： メイン会場：講師（東北大学大学院医学系研究科教授大隅典子，作家・東北大学工学研究科特任教授瀬名秀明），聴講者およそ350名，サブ会場計約150名。

利用方法： JGN IIで設定したネットワークを用いて，メイン会場（仙台メディアテーク）とサブ会場（八戸工大，岩手県立大）との映像及びアンケート等を用いた双方向性コミュニケーションと，その他の多くのサブ会場への映像配信を行い，開催及びモデル開発を支援する。

(3) JGN II 利用の概要

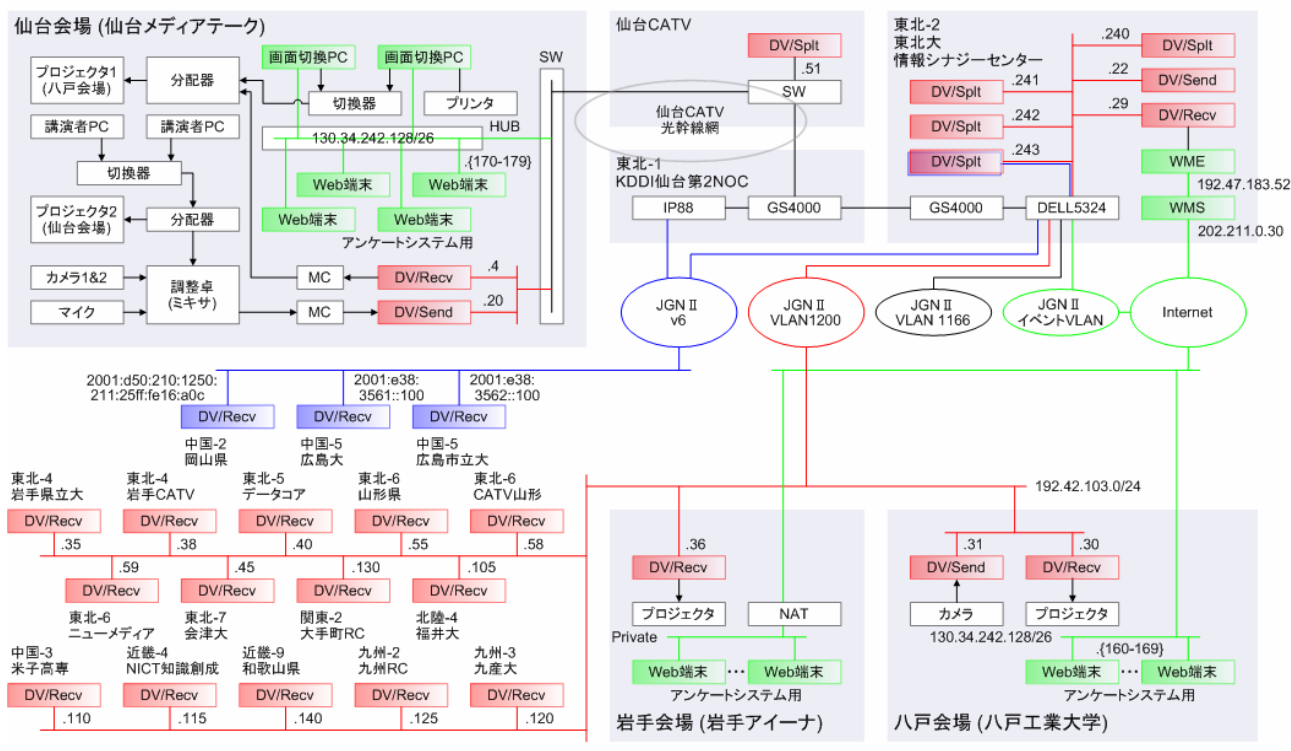
ネットワーク型サイエンスカフェを、サブ会場へDVTS等により配信をおこなった。またサブ会場のうち八戸会場から、模様をメイン会場へ伝送した。



サイエンスカフェ200606

ネットワーク構成図

2006年6月28日 現在
担当 さくらい <skri@mail.tains.tohoku.ac.jp>





岩手会場

利用期間

試験期間： 6月26日～6月29日

本番利用期間： 6月30日

なお、イベント利用の設定はイベント 140「ICT推進フェア 2006 in 東北」と同じまま用いた。

(4) イベント参加人数

AP	場所	参加人数・内訳
東北-1	せんだいメディアテーク	350
東北-2	東北大学情報シナジーセンター	無人（中継拠点）
東北-3	八戸工大	35人くらい
東北-4	岩手県立大アイーナキャンパス	20人少し
東北-4	岩手県立大地域連携研究センター	5人
東北-4	岩手 CATV	局内2人+生中継（人数不明）
東北-5	データコア	5名
東北-6	山形県	6人
東北-6	CATV 山形	社員ばかり4名
東北-6	ニューメディア	受信だけ
東北-7	会津大	最低で4, 5人+学内放送
関東-2	大手町 RC	無人（テスト）
北陸-4	福井大	8人
中国-3	米子高専	
近畿-4	NICT 知識創成	
近畿-9	和歌山県	職員ばかり8人
九州-2	九州 RC	2人
九州-3	九産大	6人（学生2名、教員2名、学外から2名）
中国-2	岡山県（県立図書館）	10人
中国-5	広島大	6人(教員ほか)
中国-5	広島市大	4人

(5) 実施評価等

仙台のメイン会場の他に、八戸工大、岩手県立大（アイーナキャンパス）など16のサブ会場をJGNI1によって結んだ新しいスタイルのサイエンスカフェであり、多くの参加者があり、新聞、テレビニュースなどメディアにも大きく取り上げられ、また大学関係者の見学もあり、大きな成功を収めることができた。

また大隅先生と瀬名先生から脳とロボットを考える新しい視点をたくさん提供していただき、参加者に大きな刺激を与えることができた。新しく開発した質問システムも予想以上の効果を挙げた。今回のサイエンスカフェの開催状況を詳しく分析し、サイエンスカフェのネットワーク化をさらに進めていきたい。

同時に、東北リサーチセンターの研究開発の取り組みとして、地域間広帯域コンテンツ流通基盤実験、CATVコンテンツ流通実験、及びIPv6ネットワークによる遠隔情報流通基盤研究の一環として、映像配信ネットワークの構成と運用・統計情報統合化システムの実証実験およびデータ収集も行われ、有意義な計測結果を得ることができた。

(6) 開催模様等



岩手県立大アイーナ



岩手CATV（生放送）



CATV山形



福井大



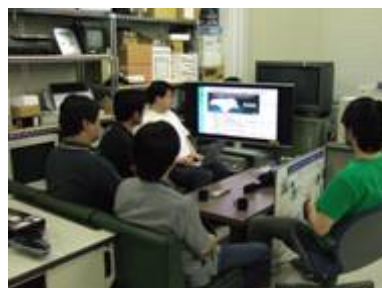
和歌山県



九州産業大



岡山県（県立図書館）



広島大



広島市大